



未来を担う若き友人たちへ

2016年5月18日

遠山 敦子

元文部科学大臣、トヨタ財団理事長

I 世界や日本が直面する問題は何か

世界が直面している問題の例

- ① IS(イスラーム国家)の出現、国際テロの頻発と脅威、難民問題
- ② 民族的、宗教的対立の引き起こす、世界各地での地域紛争
- ③ グローバル経済の下、世界的な経済停滞と見通しの不透明さ
- ④ 地球温暖化とこれまでにない気候変動
- ⑤ 世界的なエネルギー資源や食糧の不足
- ⑥ 感染症の発生と伝播
- ⑦ インターネットの普及とそのメリット、デメリット

日本が直面している問題の例

- ① 少子化の急速な進行、働き手の不足
- ② 高齢者の急激な増加、社会保障費の拡大
- ③ 経済停滞、膨大な財政赤字
- ④ 地方の衰退
- ⑤ 経済格差の出現と子どもの貧困問題
- ⑥ 相次ぐ巨大な自然災害の発生
- ⑦ 近隣国との領土問題や不穏な国家の存在

Ⅱ こうした未来を誰が担うのか — 日本での女性の活躍への期待 —

ジェンダー・ギャップ指数・2015年

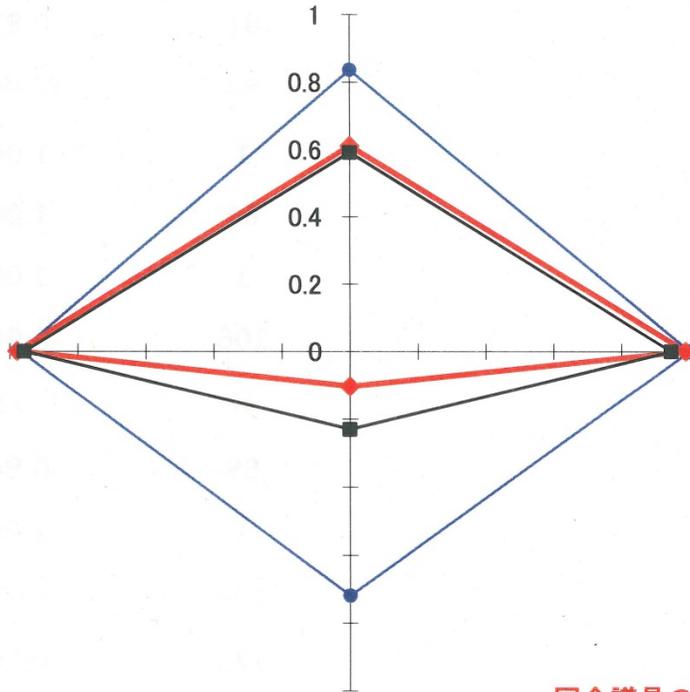
○ 各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数は、日本は145カ国中101位。

- ・労働参加率の男女比
- ・同一労働における賃金の男女格差
- ・推定勤労所得の男女比
- ・**管理的職業従事者の男女比**
- ・専門・技術者の男女比

経済参画(106/145)
Economic Participation

健康(42/145)
Health and Survival

- ・出生児性比
- ・平均寿命の男女比



- **アイスランド**
1位/145か国中
- ◆ **日本**
101位/145か国
- **平均**

教育(84/145)
Education Attainment

- ・識字率の男女比
- ・初等教育就学率の男女比
- ・中等教育就学率の男女比
- ・高等教育就学率の男女比

政治参画(104/145)
Political Empowerment

- ・**国会議員の男女比**
- ・**閣僚の男女比**
- ・**最近50年における
国家元首の在任年数の男女比**

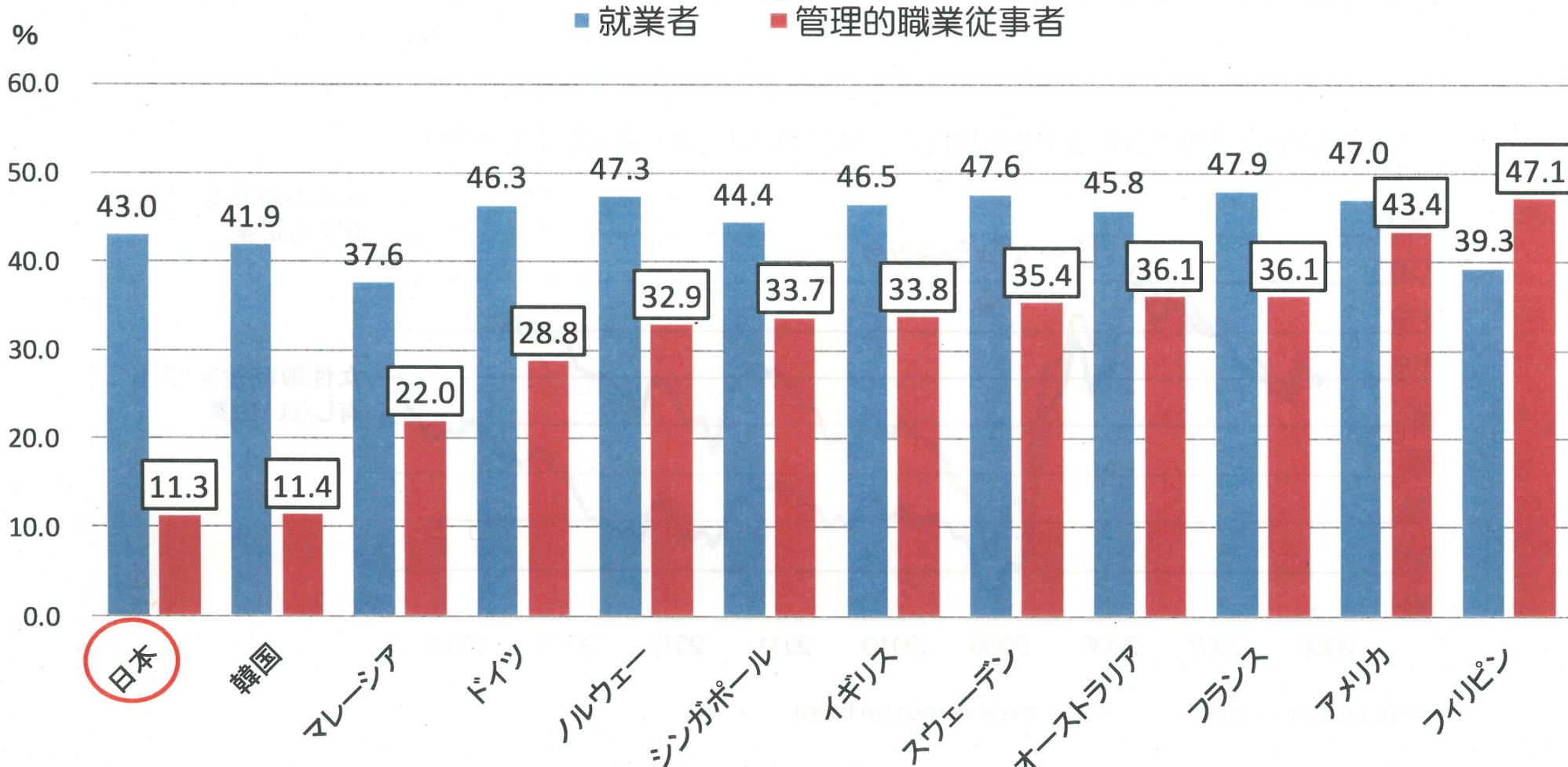
順位	国名	値
1	アイスランド	0.881
2	ノルウェー	0.850
3	フィンランド	0.850
4	スウェーデン	0.823
5	アイルランド	0.807
6	ルワンダ	0.794
7	フィリピン	0.790
8	スイス	0.785
9	スロベニア	0.784
10	ニュージーランド	0.782
11	ドイツ	0.779
15	フランス	0.761
18	英国	0.758
28	米国	0.740
30	カナダ	0.740
41	イタリア	0.726
75	ロシア	0.694
91	中国	0.682
101	日本	0.670
115	韓国	0.651

(備考) 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書」より作成

著作権保護コンテンツのため
非表示とさせていただきます

就業者、管理的職業従事者に占める女性割合(国際比較)

就業者に占める女性割合に比べ、管理的職業従事者に占める女性割合は国際的にみても低い



- (備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」(平成26年)、独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2015」より作成。
2. 日本は平成26年(2014年)、その他の国は2013年(平成25年)のデータ。
3. 総務省「労働力調査」では、「管理的職業従事者」とは、就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。また、管理的職業従事者の定義は国によって異なる。

女性を支援する立法など

男女雇用機会均等法(1985公布, 1997年改正)

雇用の男女均等機会、待遇の確保、女性の就業の妊娠中・出産後の健康確保

育児休業法(1991年公布、1995年改正)

男女共同参画社会基本法(1999年)

男女共同参画社会の基本理念を定め、形成のために総合的・計画的に促進

次世代育成支援対策推進法(2003年)

基本理念を定め、対策を推進。「くるみん」マーク、出産・育児休暇、短時間勤務

202030(2003年)

指導的地位の女性割合を2020年までに30%に(男女共同参画推進本部決定)

女性活躍推進法(2015年8月成立, 2016年4月施行)

社会生活と家庭生活の両立、女性が活躍できる社会環境の整備などを推進
企業等に行動計画の策定義務付け

Ⅲ 人はどのように生き、どう仕事すべきか

—若者へのメッセージ—

ボスポラス海峡
(トルコ・イスタンブール)



スルタンアフメット広場
(トルコ・イスタンブール)



スルタンアフメット広場
(アヤソフィアとスルタンアフメット・モスク)

エルトゥールル号銅像
(和歌山県串本町)



ŞEHADETLERİNİN 125.YILINDA
KAHRAMAN DENİZCİLERİMİZİN ANISINA
ERTUĞRUL FIRKATEYİNİ
16 EYLÜL 1890
KUŞIMOTO-JAPONYA
殉難125周年
トルコ海軍の勇敢な将兵を追悼して
エルトゥールル号
1890年05月

Ⅲ 人はどのように生き、どう仕事すべきか

—若者へのメッセージ—

- ①仕事には、常に全力投球を。
- ②失敗を恐れず、挑戦する精神。
- ③社会のためにとの使命感を根底に。

緒方貞子さんの言葉

- 人の生命を守ることが一番大事なことで、そのことに従来の仕組みやルールがそぐわないならルールや仕組みを変えればよい。
- (私が)守り続けた点は、人間を大事にするという価値です。そのためにあらゆる工夫をして、力を合わせてきたのです。「人の命を大切にすること」、生きていさえすれば、彼らには次のチャンスが生まれるのですから。

「緒方貞子 回顧録」より

IV 未来のリーダーたるべき若者たちへ

From

“HARD CHOICES”

By Hillary Rodham Clinton

All of us face hard choices in our lives. Some face more than their share. We have to decide how to balance the demands of work and family.

.....

Life is about making such choices. Our choices and how we handle them shape the people we choices.

.....

In making these decisions, I listened to both my heart and my head. Along the way, to learn, to adapt, and to pray for the wisdom to make better choices in the future.

V 若者よ、自らとこの国に自信をもち、 世界へはばたけ

学び続け、自己を高め、他者を思いやる

誠実な仕事や奉仕を通じて、社会の役に立つ

日本文化と日本人に誇りをもち、他文化を尊重する